

青森明の星短期大学と弘前大学が、町内の中高生らに裁判員として判決を出してもらう模擬裁判教室を、1月21日(土)、役場委員会室で開催しました。模擬裁判には、小泊・中里中学校や中里高校の生徒らが裁判員や検察官、弁護士役として、傍聴席には町民ら約40人が参加しました。

この模擬裁判の被告人は「コンビニで万引きを働が見つかり逃亡。途中、店員に追いつかれるが暴行を加え再度逃走した」という設定で行われました。本番と同様に進行し、起訴状の朗読、冒頭陳述、証人の取り調べ、論告・求刑、弁護人の弁論が行われ



判決について話し合い



証人の取り調べの様子

ました。

その後、参加した全員が4つの班に分かれ、自分が裁判員として参加した場合、どのような判決をするのかを考えました。それぞれの班で意見を取りまとめたあとに発表しましたが、全ての班で違う結果となりました。参加した高校生は「模擬裁判だったがとても緊張感があった。被告人の印象が人によって違い、判決に違いがでた。難しかったがとても勉強になった」と話していました。

## 新年最初の芸能発表

駅ナカで新春初笑い市

新春を笑って迎えようと1月3日(火)、駅ナカにぎわい空間で「新春初笑い市」が開かれました。始めに金多豆蔵人形芝居の公演が行われ、来場者から笑い声が上がっていました。今年最初の芸能発表は花柳穂紀桜会のみなさんが務め、新春の舞を披露しました。続いて、健康ダンス「べえ子ちゃん」新春スペシャルショーが行われました。

また、つきたてのおもちの振る舞いには長蛇の列ができていました。来場者らは「つきたてでおいしい。おかわりしたい」と話していました。最後はビンゴ大会が行われ、参加者らは1列空くと「ビンゴ!」と笑顔で手をあげていました。



べえ子ちゃん



花柳穂紀桜会



元気にもちつき

